



会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-7

CALENDAR カレンダー

会
告

期日	講演・会合等名称(会場),《共催等》,太字=本会関連
2013年(平成25年)	
11/1(金)	第7回多糖の未来フォーラム(阪府大)《共催》
11/1(金)	第22回腸内フローラシンポジウム(東京)
11/2(土)	第4回機能油脂懇話会(明大)
11/2~4(土~月)	第4回 Modern Solid Phase Peptide Synthesis & its Applications Symposium (SPPS 2013)(神戸)《協賛》
11/6~7(水~木)	第104回有機合成シンポジウム(早稲田大)《共催》
11/6~8(水~金)	第4回アジア太平洋国際ペプチドシンポジウム, 第50回ペプチド討論会(大阪)《共催》
11/6~8(水~金)	第5回国際O-CHA学術会議(静岡)《後援》
11/7(木)	第19回名古屋メダルセミナー(名大)《協賛》
11/7~8(木~金)	第36回情報化学討論会(筑波大)《共催》
11/7~8(木~金)	第41回構造活性相関シンポジウム(関西学院大)《協賛》
11/7~8(木~金)	第12回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎—(東大)《協賛》
11/8(金)	第54回機器分析講習会(第3コース:食品を中心とした異物分析)(東京)《協賛》
11/8(金)	千里ライフサイエンスセミナー「がんゲノミクス研究と臨床応用」(大阪)
11/8(金)	第6回新産業酵母研究会講演会(東京)
11/9(土)	日本農芸化学会中部支部第169回例会若手シンポジウム『核酸科学の新潮流』(岐阜大)
11/9(土)	北里大学・北里生命科学研究所「第3回 Tishler-Omura講演会」(北里大)
11/9~10(土~日)	第18回フードファクター学会学術集会(東農大)
11/12~13(火~水)	第58回リグニン討論会(高松)《共催》
11/12~14(火~木)	第52回NMR討論会(金沢)《共催》
11/14~16(木~土)	第54回高压討論会(新潟)《協賛》
11/15(金)	日本希土類学会第31回講演会(名古屋)《協賛》
11/15(金)	植物化学シンポジウム第50回記念大会(東大)《共催》
11/15(金)	日本油化学会オレオマテリアル部会セミナー—親水性ゲル化剤が切り開くオレオマテリアルの新展開—(東京理科大)《協賛》
11/15~16(金~土)	第46回酸化反応討論会(筑波大)《共催》
11/16~17(土~日)	第19回ヒ素シンポジウム(九大)《後援》
11/16~17(土~日)	2013年日本化学会中国四国支部大会(広島大)
11/20~21(水~木)	平成25年度後期(秋季)有機合成化学講習会(東京)《共催》
11/20~21(水~木)	第13回糸状菌分子生物学コンファレンス(つくば)
11/22(金)	電気化学会関東支部2013年関東支部セミナー「電気化学の生命科学・医療分野への応用」(農工大)《協賛》
11/22(金)	山口大学農学部及び共同獣医学部附属中高温微生物センター・シンポジウム(第5回)「地球温暖化に抗う生き物たちの戦略~生物の耐熱性・耐熱化メカニズム~」(山口大)
11/25(月)	第53回プラスチックフィルム研究会講座「プラスチックフィルムの可能性を拓く技術」(東工大)《協賛》
11/25~26(月~火)	第13回基準油脂分析試験法セミナー—新しい基準油脂分析試験法と最新分析法の紹介—(東京)《協賛》
11/26(火)	産学官若手交流会さんわか第19回ワークショップ『農芸化学が生み出したヒット商品開発の舞台裏』(阪大)
11/27(水)	第30回医用高分子研究会講座~再生医療を支える高分子材料技術~(東大)《協賛》

期日	講演・会合等名称(会場)、《共催等》、太字=本会関連
11/29(金)	2013年度日本乳酸菌学会秋季セミナー「乳酸菌・ビフィズス菌利用研究の新たな展開」(東農大)
11/30(土)	アグリバイオ・シンポジウム2013(近畿大)
12/3~5(火~木)	第40回炭素材料学会年会(京都)《協賛》
12/4(水)	革新的環境技術シンポジウム～新たな環境エネルギー政策を踏まえた低炭素社会の構築～(東大)《後援》
12/5(木)	“未来へのバイオ技術”勉強会「機能性食品の科学的エビデンス～脂質と糖の代謝改善」(東京)《協賛》
12/5~6(木~金)	平成25年度室内環境学会学術大会(佐世保)《後援》
12/5~7(木~土)	第40回有機典型元素化学討論会(近畿大)《共催》
12/6(金)	薮田セミナー「生物間コミュニケーション研究の最前線」(浜松)《共催》
12/6(金)	第19回ペプチドフォーラム(山形大)《共催》
12/6~7(金~土)	文部科学省科研費補助金新学術領域研究「生合成マシナリー：生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」第6回公開シンポジウム(千葉大)《後援》
12/7日(土)	日本農芸化学会関西支部例会(第482回講演会)
12/7~8(土~日)	第50回好塩微生物研究会(島根大)
12/9(月)	第51回高分子と水に関する討論会(東工大)《協賛》
12/20~21(金~土)	第17回生体触媒化学シンポジウム(岡山理大)《共催》
12/22(日)	日本薬学会関東支部第38回学術講演会「難治性疾患に対する新規治療法を目指して」(東京)
2014年(平成26年)	
1/22~23(水~木)	第25回高分子ゲル研究討論会(東大)《協賛》
1/24~25(金~土)	第25回ビタミンE研究会(鳥取)
1/25(土)	第19回高専シンポジウムin久留米「高専から発進!「科学技術・知の創造」」(久留米工高専)《協賛》
2/1(土)	2013年度第2回公益社団法人日本農芸化学会関東支部例会受賞講演・シンポジウム「食品機能研究の最前線」
3/27~30(木~日)	日本農芸化学会2014年度(東京)大会



会費納入時期の変更・学生会費の減額・会誌の刊行にかかる重要なお知らせ

2013年11月1日

会員の皆さんへ

公益社団法人日本農芸化学会
会長 清水 誠

このたび日本農芸化学会は、2014年度より会費納入時期の変更、学生会員の減額、会誌刊行方法の変更を実施することを決定しましたのでお知らせいたします。

今後の農芸化学会の更さらなる発展のため、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

① 会費納入時期の変更と学生会費の減額

2014年度会費（3月～）は事前納入していただくこととなりました。それによって2014年度大会（2014年3月下旬開催）に参加される方は、大会発表時に会員資格を有していただくことができます。次年度会費の請求は年次大会の参加登録時期（11月～12月）にあわせて行います。またあわせて、学生会員の負担を軽減するとともに学生会員の増加を期待して、学生会員会費を減額いたします。来春修了予定の学生会員の方は、次年度会費として改定後の学生会員費（4,000円）が適応されます。くわしくは、学会ホームページをご覧ください。

（1）改定する会費の金額と対象

対象	現在の会費	2014年度からの会費
学生会員	6,000円	4,000円 (2,000円値下げ)

（2）会費の納入時期の変更（全会員）

現在	変更後
事業年度開始時 (毎年3月)	事業年度開始前 (毎年11月～12月) 本年より

② 英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の刊行方法の変更

将来にわたって健全な財政運営を維持し、世界への農芸化学の発信と高品質かつ迅速な学術論文誌の刊行を目指し、本会の英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Bio-

chemistry」（以下 BBB）の編集出版事業を2014年1月発行号より、英国企業の Taylor and Francis 社へ委託することを決定いたしました。

③ BBB誌のオンライン閲覧と冊子体の購読

BBB掲載論文は、2014年1月より本会ホームページのマイページから、全会員の方に無料でオンライン閲覧できます。オンライン BBB（2014年 No. 1～）閲覧のためには、2014年度の会費の納入が必要となります*1。学生会員の皆さまにオンライン BBB を気軽に閲覧していただくため、会費の減額を決定いたしました。また、冊子体ご購読を希望される方には、下記（2）の方法でお申込みください。

（1）オンライン BBBへのアクセス方法

マイページにアクセスし、ID（会員番号）及びパスワードをご入力ください。ログイン ID（会員番号）は、化学と生物誌の送付状およびニュースメールに記載されている数字7桁です。パスワードをお忘れの方は、マイページ画面上で再発行が可能です。

■アクセス先 URL（個人会員専用マイページ）：<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>
※法人会員には、個別に郵送でご案内いたします。

*1 会員の皆様はマイページにログインし、会費お支払状況からクレジットカードまたはコンビニを選択し、決済を行ってください。（マイページログイン：会員番号、パスワード）

例年通り会費の振替用紙は郵送いたしますが、振替用紙を用いたお支払いは入金確認に時間を要し、すぐにはオンライン雑誌の閲覧をしていただけません。できる限り、クレジットカード決済、マイページからのコンビニ決済、あるいは口座引き落としのご利用をお願いいたします。

(2) 冊子体 BBB の購読

冊子体 BBB の購読をご希望の方は、1巻12冊分 (No. 1~No. 12) の冊子代金として正会員の方は1年間あたり8,400円、学生会員の方は1年間あたり5,500円をご納入ください。現在購読されている方には送本を継続いたします。新たに冊子体 BBB を配本希望の方は、会員番号、氏名、 BBB 冊子体購読希望と明記のうえ、メールまたはFaxにて、学会事務局宛にお申し込みください。

公益社団法人日本農芸化学会事務局
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: shomu@jsbba.or.jp

(4) 和文誌「化学と生物」のオンライン化

本会和文誌「化学と生物」の編集事業が直面している困難な財政状態に対応し、印刷費や送料等の経費削減を図るため、2015年（再来年）より冊子体の無料配布からオンライン刊行への移行を目指すことにいたしました。会員の皆様には2014年4月より、 BBB と同様にマイページから新刊をオンライン閲覧していただける予定です。試行期間を経て、オンライン刊行へ移行する予定です。

以上

**任期満了に伴う代議員選挙の実施に関するお知らせ 並びに
代議員候補者の立候補の受付について**

平成25年11月1日

正会員の皆さまへ

公益社団法人日本農芸化学会
本部選挙管理委員長 加藤久典

日本農芸化学会本部選挙管理委員会は、定款第5条3項並びに代議員選挙規程に基づき、任期満了に伴う代議員選挙を下記要領で実施いたします。

平成25年11月18日（月）～11月29日（金）	代議員候補者の立候補届出期間
平成25年12月16日（月）～平成26年1月17日（金）	代議員候補者名簿公示期間（WEB上）
平成26年1月6日（月）～1月17日（金）17時	投票実施期間
平成26年1月17日（金）18時	代議員選挙結果の公示

1. 代議員選挙候補者の立候補の届出について

(1) 届出資格

平成25年10月31日現在の当学会の正会員（名誉会員、有功会員、シニア会員、一般会員、教育会員）。ただし、資格停止者及び休会者は除きます。

(2) 立候補届出方法

「代議員立候補届出書」（様式）を学会ホームページの会員専用ページ (<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>) にログインしてダウンロードし、所定事項を記載、押印のうえ、所属支部の支部選挙管理委員会立候補届出宛に提出してください。

(3) 立候補届出提出期間

平成25年11月18日（月）～11月29日（金）

(4) 支部別届出先

■北海道支部

北海道支部選挙管理委員長 和田 大

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院

■東北支部

東北支部選挙管理委員長 藤井智幸

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 東北大学大学院農学研究科生物産業創成科学専攻

■関東支部

関東支部選挙管理委員長 石神 健

〒113-8657 文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻

■中部支部

中部支部選挙管理委員長 堀尾文彦

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科応用分子生命科学専攻

■関西支部

関西支部選挙管理委員長 由里本博也

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻

■中四国支部

中四国支部選挙管理委員長 上村一雄

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院環境生命科学研究科農生命科学専攻 生物機能化学内日本農芸化学会中四国支部事務局

■西日本支部

西日本支部管理委員長 山田耕路

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院農学研究院生物化学分野内 日本農芸化学会西日本支部事務局

2. 代議員選挙について

(1) 投票の方法

投票は原則WEB投票とし、当該正会員が所属する支部の候補者についてのみ、当該支部定数の連記方式による投票とします。立候補者数が定数以下の支部は全員を当選とし、該当支部の投票は行いません。ただし、WEB投票が困難な正会員は、本部選挙管理委員会に申し出ることにより、郵便で投票することができます(4.投票用紙の請求について参照)。

(2) 代議員の選出

投票の結果、有効投票の得票数の多い順位により当該支部定数の者までを代議員当選者とします。得票数が同一の場合は、当該支部選挙管理委員会が抽選でその順位を決めます。

3. WEB投票にともなう会員情報の登録または変更について

代議員選挙のWEB投票を行うには、会員情報として連絡先(支部の決定)およびE-mailアドレスの登録が必須となります。E-mailアドレスを登録していない正会員の方、あるいは変更したい方は、あらかじめご登録いただきますようお願い申し上げます。

○E-mailメールアドレスの事前登録方法

■ご自身で登録・変更する場合

学会ホームページの会員専用ページ(<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>)にアクセスして会員番号とパスワードを入力してログインし、「会員情報の変更」をクリックして変更事項を入力後、変更ページ最下部の「次へ」ボタンをクリックしてください。表示された確認画面で変更されたことをご確認のうえ、ページ最下部の「更新」ボタンをクリックしてください。

■学会事務局に登録・変更依頼する場合

会員番号、氏名および登録するE-mailアドレスを明記のうえ、FaxまたはE-mailにて学会事務局へご連絡ください。

連絡先：日本農芸化学会事務局 庶務係

Fax. 03-3815-1920 E-mail: shomu@jsbba.or.jp

4. 投票用紙の請求について

会員番号、氏名および連絡先(郵送先)を明記のうえ、投票用紙の請求期間内に、Faxまたは郵便でご請求ください。会員番号が不明な方は、氏名と会誌送本先住所をお知らせください。

請求先：日本農芸化学会事務局 庶務係(本部選挙管理委員会)

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16学会センタービル2階 Fax. 03-3815-1920

郵便投票用紙の請求期間：平成25年12月16日(月)～12月27日(金) 本会必着

5. 公益社団法人日本農芸化学会 本部選挙管理委員会

(委員長) 加藤久典

(委員) 作田庄平、森光康次郎

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: shomu@jsbba.or.jp

**産学官若手交流会さんわか
第19回ワークショップ『農芸化学が生み出したヒット商品開発の舞台裏』**

日 時：平成25年11月26日(火) 13:30～
(終了後、交流会あり)

会 場：大阪大学中之島センター 7Fセミナー室 (<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.php>)

プログラム：特定保健用食品「キリンメンツコーラ」の開発について、若林英行

(キリンビバレッジ株式会社)／クロロゲン酸含有コーヒーの開発、片岡 潔(花王株式会社)／納豆菌育種による「金のつぶ」ブランド納豆の商品開発および品質改善、竹村 浩(株式会社ミツカン)／麹の利用～塩糀とは?、山下秀行(株式会社樋口松之助商店)

参加費：講演会1,000円、技術交流会5,000円(学生1,000円)

参加申込／問合せ先：さんわかホームページ(<http://www.jsbba.or.jp/event/sanwaka/>)をご参照ください。

薮田セミナー
テーマ「生物間コミュニケーション研究の最前線」

日 時：2013年12月6日（金）13:15～
16:45

場 所：アクトシティ浜松コングレスセンター43～44会議室（浜松市中区板屋町111-1）

参加費：無料

主 催：日本農芸化学会

協 賛：日本農芸化学会中部支部、日本生物工学会中部支部、日本微生物生態学会、環境バイオテクノロジー学会、静岡大学食品・生物産業創出拠点、静岡化学工学懇話会

プログラム：13:15～はじめに、13:20～14:00 野村暢彦（筑波大院・生命環境）、「微生物間コミュニケーションを利用したバイオフィルム制御技術の開発」、14:00～14:30 二又裕之（静岡大院・化学バイオ）、「モデル微生物生態系におけるシステムの動的平衡と微生物間の相互作用」、14:30～15:10 大熊盛也（理化学研究所・JCM）、「シロアリ腸内微生物群集の代謝機能と共生機構」、休憩、15:20～16:00 東原和成（東京大院・農学生命）、「動物の異性間コミュニケーションにおける分子と受容体の同定」、16:00～16:40 河岸洋和（静岡大院・農学）、「キノコが引き起こす「フェアリーリング（妖精の輪）」の化学的解明とその農業への応用の可能性」、16:40～おわりに

問合せ先：〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学大学院工学研究科化学バイオ工学専攻 金原和秀
Tel & Fax. 053-478-1170
E-mail: tkkimba@ipc.shizuoka.ac.jp

本会推薦による賞・助成金情報

適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成情報（<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>）もご覧ください。

【賞】

○平成25年度 飯島藤十郎賞（11/6締切）

対 象：食品科学、特に米麦その他主要穀類を原料とする食品の素材、加工技術、品質、安全性、栄養、機能その他に関する学術上の研究および食品の技術開発に優れた業績が認められる活躍中の研究者または研究グループ

飯島藤十郎食品科学賞

対 象：上記に示す研究分野に関し、学術上特に優秀な研究業績をあげた研究者

褒 賞：賞状、賞牌、研究奨励金500万円
飯島藤十郎食品技術賞

対 象：上記に示す研究分野に関し、食品の技術開発において優れた業績をあげた研究者または研究グループ（企業研究者を含む）

褒 賞：賞状、賞牌、研究奨励金200万円

○森永奉仕会賞（11/29締切）

対 象：平成24年1月1日から同年12月末日までの期間内に発表された業績
研究課題：小児の栄養・健康、公衆衛生ならびにこれに関連する乳製品等の品質改善に関する調査・研究

【助成】

○森永奉仕会研究奨励金（11/29締切）

研究課題：小児の栄養・健康、公衆衛生ならびにこれに関連する乳製品等の品質改善に関する調査・研究

申請金額：自由（森永奉仕会が裁量のうえ

交付）

○（公財）山田科学振興財団2014年度研究援助（2014/1/31締切）

対 象：自然科学の基礎的研究

- 1) 萌芽的・独創的研究
- 2) 新規研究グループで実施される研究
- 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
- 4) 國際協力研究

援助対象期間：2014年9月～2016年3月の研究

援助額：1件当たり100～500万円、総額3,000万円、援助総件数は15件程度。本会からの推薦件数3件。

《問い合わせ・応募先》 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内 日本農芸化学会事務局授賞係
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: shomu@jsbba.or.jp

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣 旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかわる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1～2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

（PDF）にてお申込み下さい。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail:soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
**新入会・登録情報変更などの
URLについて**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 新規入会、登録情報確認・変更のURL
 は下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員
 ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づ
 き学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏
 れることがないよう十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web
 上では変更できない個所も定めておりま
 すので、E-mailまたはFaxでも受け付けてお
 ります。

この際、登録内容をご確認いただき、
 E-mailなどご登録いただいているようで
 したら是非ご登録下さいますようご協力下

さい。
 [日本農芸化学会ホームページURL]
<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は
 「パスワード再発行」を行って下さい。
 取得されたパスワードを独自のパスワード
 に変更する場合は「パスワードの変更」で
 手続きすることができます。

《事務局会員係》Tel. 03-5803-9561, Fax.
 03-5803-9562, E-mail : kaiin@jsbba.or.jp



**2013年度（平成25年）
 日本農芸化学会
 西日本支部奨励賞候補者募集**

日本農芸化学会西日本支部では、本年度
 におきましても農芸化学の進歩に寄与した
 研究を顕彰する西日本支部奨励賞（一般；
 1件、学生；1件）を公募いたします。奮って
 ご応募ください。

応募資格：申請時に日本農芸化学会員ある
 いは入会手続き中で、2013年度（平成25年）
 4月1日現在の時点で満37歳以下であ
 り、主たる研究の場が西日本支部内である
 こと。応募方法・応募申請書は支部ホー
 ムページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west>）を参
 照のうえ、必要書類をダ
 ウンロードしてください。

応募締切：2013年（平成25年）11月8日
 （金）まで

応募書類提出先：〒812-8581 福岡市東区
 箱崎6-10-1 九州大学大学院農学研究院
 生物化学分野内

日本農芸化学会西日本支部
 Tel & Fax. 092-642-2854（庶務幹事：角
 田佳充）

**日本農芸化学会中部支部
 第169回例会
 若手シンポジウム
 「核酸科学の新潮流」**

日時：2013年11月9日（土）13:30～

会場：岐阜大学サテライトキャンパス（JR
 岐阜駅から徒歩5分、名鉄岐阜駅から徒歩
 7分）

プログラム：「ナノ構造化したRNA分子の
 機能創発」阿部 洋（北海道大学大学院薬
 学研究院）、「DNAオリガミを利用した生
 体分子の動きの1分子観察」遠藤政幸（京
 都大学物質一細胞統合システム拠点）,
 「mRNA前駆体選択的プロセシングパターン
 の可視化による制御機構の解析」黒柳秀
 人（東京医科歯科大学難治疾患研究所）,
 「小さなRNAが働くしくみ」泊 幸秀（東
 京大学分子細胞生物学研究所）

参加費：無料

懇親会費：一般3,000円、学生無料（予定）
 詳細は支部ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west>）にて

問合せ先：上野義仁（岐阜大学応用生物科
 学部）

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

Tel. & Fax. 058-293-2919

E-mail: uenoy@gifu-u.ac.jp

**日本農芸化学会関西支部例会
 （第482回講演会）**

開催日：2013年12月7日（土）

会場：神戸大学農学部（神戸市灘区六甲台
 町1-1）

プログラム：一般講演、農芸化学奨励賞受
 賞講演：「海洋生物由来の発光タンパク質
 に関する生物有機化学的研究」久世雅樹
 （神戸大院・農）

懇親会：講演会終了後「さくら」にて開催

問合せ先：神戸大学大学院農学研究科
 水谷正治

Tel. 078-803-5885
 E-mail: mizutani@gold.kobe-u.ac.jp
 詳細は<http://www.kansai-jsbba.jp/>をご覧
 ください。

**2013年度第2回
 公益社団法人日本農芸化学会
 関東支部例会
 受賞講演・シンポジウム
 「食品機能研究の最前線」**

日時：2014年2月1日（土）13:00～

会場：東京農工大学農学部・講堂
 （〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8）

交通：JR中央線「国分寺駅」下車、南口2
 番乗場から「府中駅行バス（明星学苑経
 由）」約10分「晴見町」バス停下車

京王線「府中駅」下車、北口バスターーミ
 ナル2番乗場から「国分寺駅南口行バス（明
 星学苑経由）」約7分「晴見町」バス停下車

JR武蔵野線「北府中駅」下車、徒歩約12分

プログラム：【受賞講演】農芸化学奨励賞：
 岡田晋治（東大院農）【シンポジウム】好田
 正（農工大院農）、森光康次郎（お茶大院食
 物）・石田正彦（（独）農研機構野茶研）、服
 部一夫・大石祐一（東農大応用科）、戸塚
 譲（東大院農）

参加費：無料（懇親会1000円、学生500円）
 詳細は関東支部ホームページ（<http://www.jsbba-kanto.jp>）をご覧ください。

問合せ先：東京農工大学農学部
 好田 正 E-mail: tyoshi@cc.tuat.ac.jp

メールアドレス登録のお願い

本会では、マーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備
 を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、
 会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じ
 ます。

本会庶務係 (shomu@jsbba.or.jp) まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げま
 す。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化
 通信によって外部からの盗聴を防いでおります。